

日本国内のサイバー環境（Cyber Environment）に 影響を与える事象

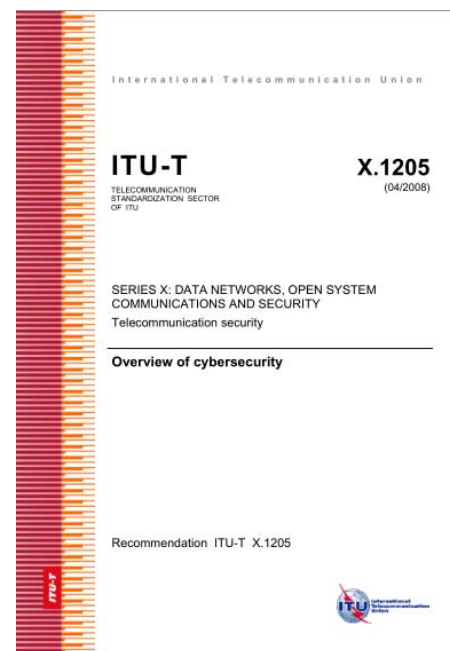
2018年 12月11日

名和 利男

「ファスト・フォレンジックの実務適用」

「サイバー環境(Cyber Environment)」とは

- サイバー環境（Cyber Environment）には、次の構成要素があると定義されている。
 - ユーザー
 - ネットワーク
 - デバイス
 - 全てのソフトウェア
 - プロセス
 - ストレージ（記憶媒体） 或いは経路上の情報
 - アプリケーション（特定の作業や業務を目的として基本ソフトウェア上で動作するソフトウェア）
 - ネットワークに直接的及び間接的に接続されることのあるシステム



https://www.itu.int/rec/dologin_pub.asp?lang=e&id=T-REC-X.1205-200804-!!!PDF-E&type=items

日本国内の「サイバー環境（Cyber Environment）」に影響を与える事象

【テクノロジー】

- ノートPCのSSD採用率の増加
- ビジネスチャットの利用拡大
- RCS準拠のメッセージングサービスの増加
- キャッシュレス取引の拡大
（CAFISによるスマホ利用の決済サービス等）
- 4K 8Kテレビ放送の開始
- PSTNからIP網への移行
- 高速通信規格5Gの導入
- 新たなIoT用無線通信サービス
（LPWA等）
- 次世代無線規格「Wi-Fi 6」

【Deep Web】

- オンラインゲーム上のチャットで闇取引
- オルトコイン情報の流通基盤（Telegram）

【対策】

- CASB（クラウドセキュリティ）
- EPP／EDR（エンドポイントセキュリティ）
- カード決済のIC対応（改正割賦販売法）
- サプライチェーンリスクの対策（SP800-171）
- 有給休暇の義務化（働き方改革関連法）

【ビジネス等】

- ERAB／ネガワット取引
- 「全銀EDIシステム」の稼働
- OTT事業（スポーツ等）の拡大
- 「スポーツホスピタリティ」の開始
- 外国人受け入れ拡大
（出入国管理改正？）
- 水道民営化（水道法改正？）

ビジネスチャットのセキュリティ機能

- 共通機能：管理者がユーザー（アカウント）をコントロール
 - ユーザーのアカウント管理：ユーザーに与える権限や離職時におけるアカウント無効化等
 - ユーザー行動監視：**アクセスログによるユーザーのアクセス状況や操作履歴の確認**
- 追加（可能な）機能：管理者が端末（デバイス）をコントロール
 - 端末認証：ハードウェアレベルでアクセス或いは権限を管理等
 - 紛失時対策：遠隔操作で端末初期化（リモートワイプ）等

デジタル・フォレンジックの調査対象：
端末（デバイス）に加えて、サーバー側の「アクセスログ」の重要性が極めて高い

本資料に関する連絡先

名和 利男 (Toshio NAWA)

SITE: <https://www.nawa.to>

PGP: 0xE38B4E01